

様式第六（第八条関係）

## 特定施設設置届出書

提出日を必ず入れてください。

年 月 日

鎌倉市長

申請者 〒247-0066

住所 鎌倉市山崎354番地2

電話番号 0467-46-8001

氏名又は名称及び法人にあ  
つてはその代表者の氏名株式会社 山崎浄化センター  
代表取締役社長 鎌倉 太郎

押印は不要

下水道法第12条の3第1項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	浄化センタークリーニング	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	鎌倉市山崎 354 番地2	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種別	67 洗たく業の用に供する洗浄施設	※施設番号	
△特定施設の構造	別紙のとおり。	※備考	コインランドリーの場合は、届出はいいません。 ただし、ドライクリーニングの溶剤に、テトラクロロエチレン等を使用している場合は、 「71 の5 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン又はジクロロメタンによる洗浄施設」に該当しますので、届出が必要となります。
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。		
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

## 備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特 定 施 設 の 構 造

工場又は事業場における施設名称	水洗機	石油系ドライ機
特定施設番号及び名称	67 洗たく業の用に供する洗浄施設	67 洗たく業の用に供する洗浄施設
型 式	(株)〇〇製作所 AB123C	(株) 〇〇製作所 DE-12F
構 造	図1のとおり	図2のとおり
主 要 寸 法	図1のとおり	図2のとおり
能 力	16Kg(1回当たりの洗濯量)	13Kg(1回当たりの洗濯量)
配 置	図3のとおり	図3のとおり
設 置 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
工事着手予定年月日	令和 3年 4月 1日	令和 3年 4月 1日
工事完成予定年月日	令和 3年 4月 1日	令和 3年 4月 1日
使用開始予定年月日	令和 3年 4月 2日	令和 3年 4月 2日
その他参考となるべき事項		

図1、2  
設置する洗濯機の構造、主要寸法がわかるものを添付してください。  
説明書の写し、カタログなど。

図3 各洗濯機の設置場所を明記した配置図 (⇒別紙、図3参照)

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

## 特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設名称	水洗機		石油系ドライ機		
特定施設号番号及び名称	67 洗たく業の用に供する洗浄施設		67 洗たく業の用に供する洗浄施設		
設置場所	図3のとおり		図3のとおり		
操業の系統	図4のとおり		図4のとおり		
使用時間間隔	1回30分で、1日3回		1回30分で、1日5回		
1日当たりの使用時間	13時～16時(3時間)		13時～16時(3時間)		
使用の季節的変動	なし		なし		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	AB 粉末合成洗剤 200g 液体 CDE 洗剤(中性) 100ml FG 柔軟仕上材 50ml 詳細については、安全データシートのとおり		石油系溶剤 500ml (フィルター循環による洗浄) カートリッジ交換 1本/2か月		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;">           洗剤等の製品安全データシートまたは説明書を添付してください。            数が多い場合は一覧表を添付してください。         </div>	
	水温(°C)	10～20	35		
	pH	7.0	10.0		
汚水等の量(m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	
	1.0	1.4	0	0	
その他参考となるべき事項			ドライ機のため洗濯排水はなし。 ただし、溶剤回収時に出る衣類の水分(1～2ℓ/日)は、カートリッジとともに、産業廃棄物として処理。		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

## 汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設名称	pH 中和装置		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>処理施設がない場合は、「処理施設なし」と記載してください。</p> </div>						
処理施設の設置場所	図3のとおり								
設置年月日	令和 年 月 日								
工事着手予定年月日	令和 3年 3月 28日								
工事完成予定年月日	令和 3年 4月 1日								
使用開始予定年月日	令和 3年 4月 2日								
種類及び型式	図5のとおり		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>図5 pH 中和装置の構造図(平面図、断面図)、処理フロー図を添付してください。</p> </div>						
構造	図5のとおり								
主要寸法	図5のとおり								
能力	1.0~2.0 m <sup>3</sup> /日								
処理の方式	硫酸によるpH調整法								
処理の系統	図6のとおり		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>図6 (⇒別紙、図6参照)</p> </div>						
集水及び導水の方法	図3のとおり								
使用時間間隔	水洗機排水時に稼働								
1日当たりの使用時間	6時間								
使用の季節変動	4~6月、10月は、2割り増し								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	希硫酸(75%) 1.5L/月								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	水温(℃)	10~20	10~20	30	30				
	pH	7.0	7.0	10.0	8.0				
	量(m <sup>3</sup> /日)	1.0	1.0	1.4	1.4				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	なし								
排出水の排出方法	公共下水道へ								
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排水方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

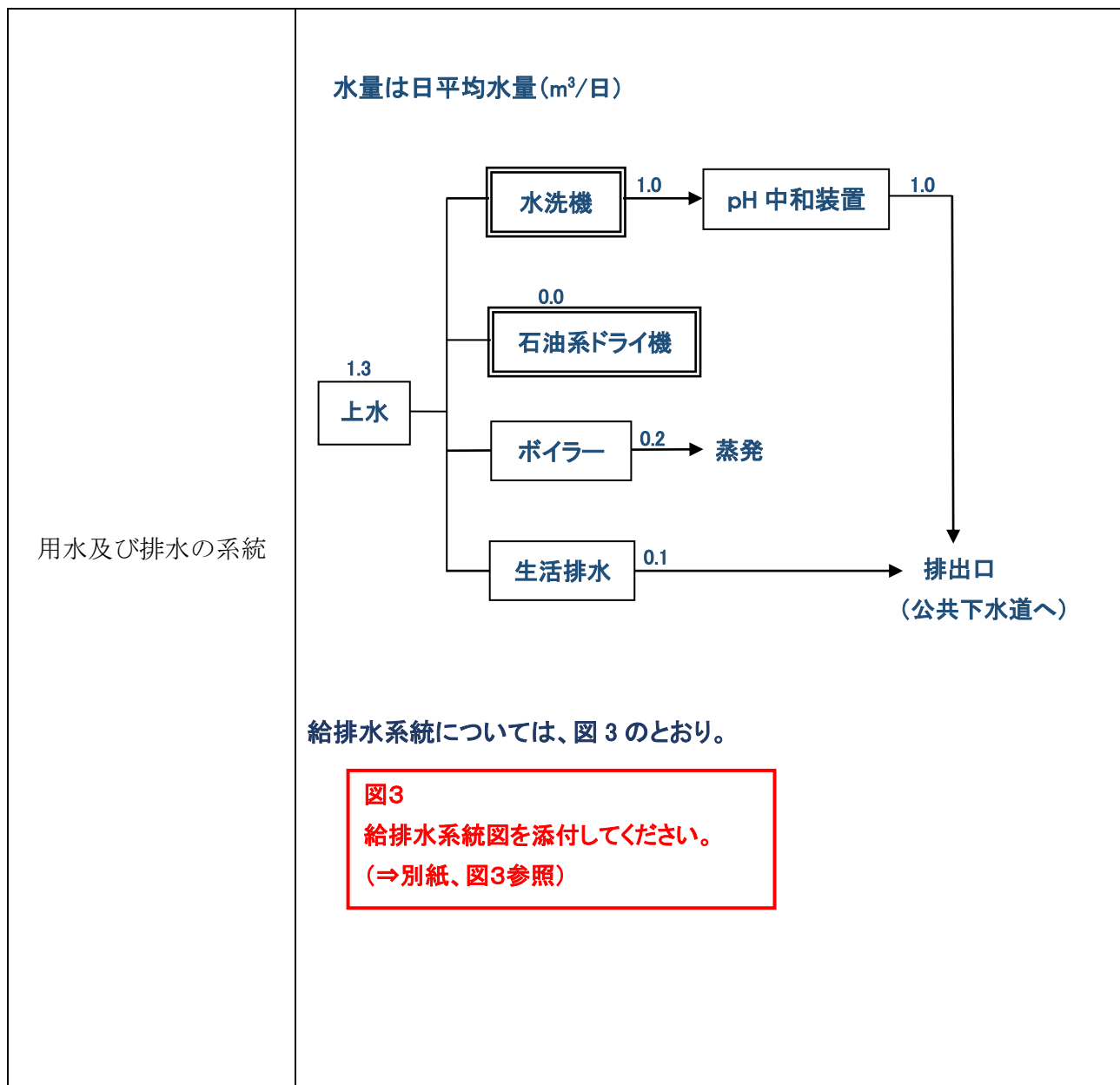
排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設名称		排出口			
排水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	水温(°C)	10~20	30		
	pH	7.0	8.0		
排水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常 1.0	最大 1.4	通常	最大
その他参考となるべき事項		生活排水を含む。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; color: red; margin-top: 10px;">生活排水 給湯室、トイレ、手洗い等に使用する水</div>			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙5はありません

用 水 及 び 排 水 の 系 統



	用 途	使 用 水	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)
用 途 別 用水使用量	洗浄用水	上水	1.0
	ボイラー温調用水	上水	0.2
	生活用水	上水	0.1
	合 計	上水	1.3

## 参 考 資 料

- 1 工場又は事業場周辺の見取図

図7のとおり

図7 事業場の場所までの案内図

- 2 工場又は事業場における建築物、施設などの配置図

敷地内に複数の建物がある場合は、配置図を添付してください。ない場合は空欄

- 3 工場又は事業場全体の操業の系統

図6のとおり

図6 (⇒別紙、図6参照)

- 4 工場又は事業場全体の特定施設の種別及び数  
(設置又は変更後の種別及び数を記入すること。)

号 番 号	名 称	数
67	洗たく業の用に供する洗浄施設	2

- 5 主要製品名及びその主原料

主 要 製 品 名	主原料及びその使用量（1日当たり）

- 6 その他工場又は事業場についての参考事項

敷 地 面 積	100 m <sup>2</sup>	常時使用する従業員数	2 人
建物の延べ面積	70 m <sup>2</sup>	操 業 時 間	9時～19時
資本の額又は出資の総額	〇〇 万円	用 途 地 域	住居専用地域

事業場の従業員数

営業時間